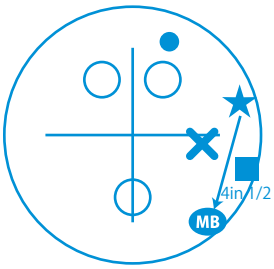
ボールの特性レポート
BALL REPORT

ボール名	投球者	センター
プライド	徳江 和則	平和島スターボウル

RG	△RG	● ピン ★ PAP ✕ CG ■ バランスホール
2.500	0.042	



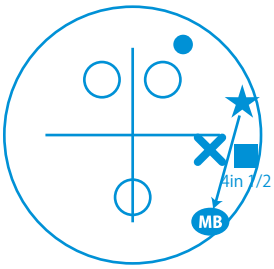
テストボール：PRIDE

フレアーの幅：インチ

PAPからピンとの距離：4-1/2 インチ

表面加工：☑箱出し状態 ☐加工 ☐ペーパー 番 ☐ポリッシュ

研磨剤：



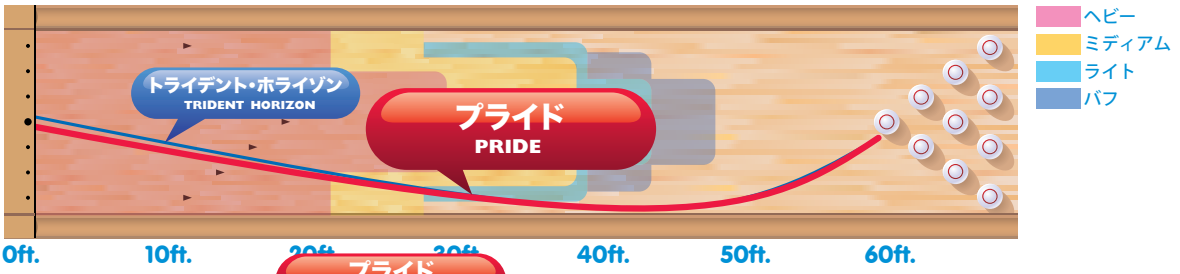
比較対照ボール：TRIDENT HORIZON

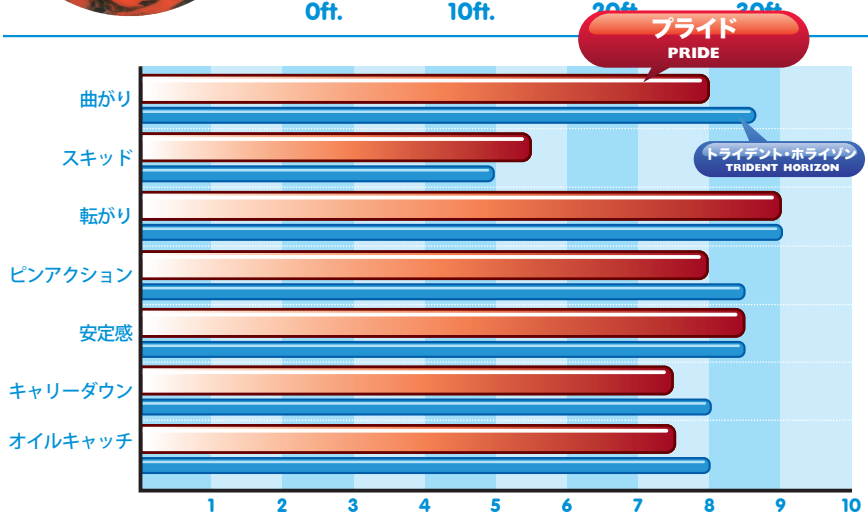
フレアーの幅：インチ

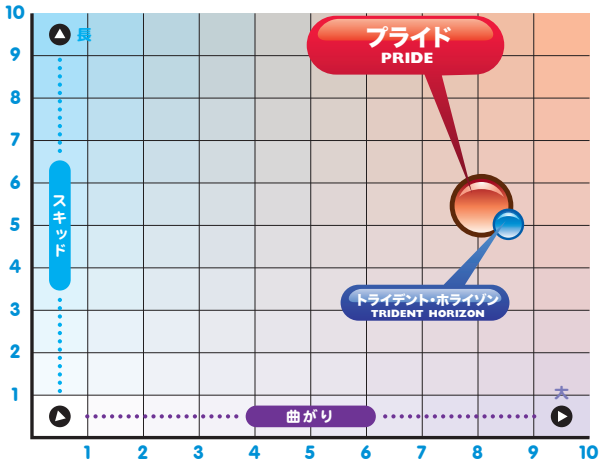
PAPからピンとの距離：4-1/2 インチ

表面加工：☑箱出し状態 ☐加工 ☐ペーパー 番 ☐ポリッシュ

研磨剤：







ボールの評価

ヘビーオイル用でJACKAL、ミディアムヘビー用でTRIDENTとあるように、MOTIV社は各領域でシリーズを確立しています。今回リリースするPRIDEは、ミディアムオイル領域で新たなシリーズとして立ち上げられ、Dominion Coreと言われる新型のコアとCoercionカバーストックに新たな添加剤を加えられたCoercion UCS（Ultimate Continuation Solid）と名付けられた最新のリアクティブが搭載された新しいテクノロジー満載のボールです。
ミディアムヘビー用でFORGE FLAREが同じCoercionカバーテクノロジーでもMXC（MaXimum Continuation）Solid Reactive でしたが、それよりもキャッチを活かしながら走りを感じさせ、より奥の角度をだすことをコンセプトにUCSカバーストックは仕上げられました。もちろん最新のDominion Coreとの組み合わせで独自の仕様であることは間違いなく、このコアあってのこのカバーストックの組み合わせと言えるでしょう。
投球してみると、手前のオイルのキャッチを感じさせながら程よいスキッドを感じられ、バックエンドでコアの起き上がりがキッチリ見えました。PRIDEはRIPCORDE VELOCITYと同じミディアムオイルの領域なので、掴み過ぎないけど程よくキャッチさせ、エネルギーを奥まで残すことを重点的に意識したのだと思います。オイルに弾かれる感じは全くありませんし、ミディアムオイル対応よりはもう少し上の領域でも良いと思うぐらい、オイルキャッチとバックエンドの起き上がり方が強く、ピンヒット時に押し込む強さを感じるのもPRIDEの良い部分だと思います。箱出しからもう少し表面の番手を下げて投球するとオイルにはなお強くなりますし、奥の動きを弱めることなくキャッチだけを強めることができるので、MOTIVの新たなブランドとしてメインボールとしてバッグに入れる価値は十二分にあると思います。

特記事項

新シリーズのPRIDEはミディアムオイルで積極的にラインを攻めることができ、強い起き上がりの良いコアが入射角の鋭さを出している、新たなブランドとして恥じぬ良い仕上がりだと思います。